



ロータリーは機会の扉を開く

創	立	昭和32年4月19日	
会	長	長谷川博章	
会長エレクト		森川善隆	
副	会	長	平田博也
幹	事	松井大典	
公共イメージ		辻田真海	



2020-21年度 地区スローガン
ロータリーの原点に戻る
誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ

事務局(例会場)	例会日
榎原市久米町652-2 THE KASHIHARA 4F	金曜日
TEL/0744-28-2801(直通)	12時30分~13時30分
FAX/0744-28-2802	
E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp	
TEL/0744-28-6636(ホテル)	

Vol.63 No.29 (2019-20)
2020(令和2)年7月3日発行

第3059回例会報告書

2020(令和2)年6月26日

司会 SAA・辻田真海会員
R.song 我ら日本のロータリアン
ソング・リーダー 井上輝好会員

いたのか、それを振り返って頂き、次年度へ繋げる場である。是非皆様の思いのたけをこの場でお話し頂ければと思う。

ゲスト

榎原 RAC 会長 千装大紀さん

幹事報告

△皆勤賞の贈呈

尾田肇睦会員・河村善一会員・高橋 靖会員・
豊田博樹会員・仲谷 登会員・松井大典会員・
安永吉伸会員・山川 賢会員 以上8名

△例会変更ほか(詳細は掲示板にて。)

・やまとまほろば RC

①7月中、例会場を変更→於：あるぼーる

※会員のみの例会とし、ビジター受付は行わない。

②7月23日(木) 休会 ※ビジター受付なし。

出席報告

会員44名
(6/26) 出席者30名 出席率78.95%
(補正なし)

ニコニコ箱

- ◎今年一年間、大変お世話になりました。
……………理事・役員一同
- ◎ニコニコに協力させていただきます。
……………鍵岡正隆会員
- ◎大変お世話になりました。……………下辻真人会員
- ◎クラブより返金頂きました大変うれしかったです。
使わずにニコニコさせていただきます。
……………増田善昭会員
- ◎甘樫会遠征ゴルフで3位入賞しましたので。
……………野口洋司会員
- ◎第307回甘樫会遠征ゴルフで優勝しました。幹事の
皆様、お世話になりました。
……………平田博也会員
- ◎甘樫会、今年度最終ゴルフコンペ(306回)で優勝
させて頂き、また、グランドマンスリーの権利を頂
いて初めて出させてもらい、米田会員との勝負で勝
たせて頂きました。次年度もよろしくお願ひします。
……………仲谷 登会員
- ◎誕生日お祝い 下辻真人会員(6/6)

委員会報告

○榎原 RAC：千装大紀会長

・一年間の振り返りと御礼

まず初めに、今年度も RAC 活動へのご支援とご協力を賜り、ありがとうございます。

RAC においては各クラブ員が与えられた仕事、各委員会や個人の目標に対して全力で一年間走ってこられたことに感謝するとともにうれしく思っている。私自身も今年度のクラブテーマを「前へ」とし、一年間自分なりに全力で駆け抜けてきた。振り返ると、前期は新しいことへの挑戦の一つとして、榎原市・榎原青年会議所主催の榎原夢の森フェスティバルの運営のお手伝いをさせて頂いた。例年2日間の開催だが今年度は台風の影響で1日だけの実施となったが、いろいろなことを学ぶことができた。後期は榎原 RAC がホストを務める予定だった地区行事が新型コロナウイルスの影響で中止となり、榎原 RC の高橋会長、会場をご準備頂いた平田様はじめ皆様にご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。次年度は榎原 RAC から地区 RA 代表を選出することとなり、決める際にはクラブをまとめるのにかなりの時間を要した。年間を通して見ると、私が RAC に入ってから初めてのことを多く経験することができ

会長挨拶

○皆様こんばんは。本日も暑い中、例会にお越し頂き、ありがとうございます。今日は一年間の締めくくりのフォーラムがある。この一年間、役員・理事の方、委員長の方、そして委員の方がどのようにご活動頂

四つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

た一年となり、規模に関わらず団体の長としてのリーダーシップや組織の使い方など自分に足りない面に気付くことができた。それに対する反省や改善に取り組むことができた有意義な時間だったと思う。新型コロナウイルスにより世界はこれまでにない不況になりつつある。しかしこれをきっかけにこれまで当たり前だと思っていたことが変わり、オンライン会議システムの導入など時代の流れに乗った新しい取り組みを率先して RAC が実践していくべきだと思う。今後は自分達の生活の安全を確保しながら時にはお互いを支え合い、クラブ活動に邁進していく。RAC は 6 月末まで活動を自粛することに決めたので、最終例会も実施しないが、振り返りとして活動報告文を各自で作成し、全員で共有していく。次年度は福本紗弓さんが会長としてクラブを引っ張っていく。7 月中に皆様にご挨拶をさせて頂くので、その時は温かく迎えて頂きたい。改めて一年間ありがとうございました。

○次年度 RA・IA 委員会：尾上隆志委員長

7 月 8 日 (水) に榎原 RAC の所信表明例会が開催される。当クラブにもご案内頂き、代表として次年度長谷川会長・松井幹事そして RA・IA 委員長の私尾上の 3 名で参加させて頂くのでご報告申し上げます。

○甘樞会：松井大典会員

・第 306・307 回甘樞会ゴルフコンペ結果報告

(6 月 23 日 (火) ～24 日 (水))

於：倉敷カントリー倶楽部・鬼ノ城ゴルフ倶楽部

梅雨の真ただ中ではあるが幸いにも天候に恵まれ、快晴の中、プレーすることができた。

<第 306 回 結果報告>

優勝 仲谷 登会員

準優勝 吉川弘晃会員

第 3 位 永田晶三会員

<第 307 回 結果報告>

優勝 平田博也会員

準優勝 永田晶三会員

第 3 位 野口洋司会員

☆グランドマンスリー 仲谷 登会員

グランドマンスリーの権利保持者が中谷昌紀会員、中川一郎会員、米田常彦会員、仲谷 登会員の 4 名となり、最終戦にて仲谷会員が米田会員を打ち破って見事グランドマンスリーを獲得された。おめでとうございます。次年度も活発に活動していくので奮ってご参加頂き、興味のある方も是非入会頂きたい。

【グランドマンスリー 仲谷 登会員よりご挨拶】

今年に入ってから新型コロナウイルスの影響などがあり、私にとってあまり良いことがなかったが、最後のゴルフコンペで最高のハンディがつき、優勝させて頂いた。ありがとうございます。グランドマンスリーでも早々に午前中で勝負がついたような感じだが、うれしいことに最終までプレーさせて頂い

た。次年度も甘樞会を盛り上げていきたいと思うので、奮ってご参加頂き、ご入会頂きたい。ありがとうございました。



卓 話

「クラブ・フォーラム (総括)」

—Club Forum : Summary—

【会計 吉川弘晃会員】

本年度予算に基づき、皆様のご協力もあり、スムーズに進めることができた。しかしながら新型コロナウイルスの影響により休会を余儀なくされたため、会費の一部を皆様に返金させて頂いた。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いしたい。

【SAA 辻田真海会員】

新型コロナ感染予防の為、3 月第 3 例会より 4 月・5 月と休会を余儀なくされましたが、再開後の例会場での衛生管理に気を配り、極力例会の雰囲気や会場の心地よさを心がけた上、休会中の食事代を会員に返還させて頂きました。また、今年度は例会数も削減されましたが、会員の戸惑いも少なくスムーズな例会運営ができたと思います。食事内容を向上させたことにより、会員の満足度も UP できたと思います。従来のようにピアノ奏者もお願いしませんでしたでしたが、食事時の BGM を会員の好きな曲を持参頂くなどの工夫も凝らし、和やかな例会になるように心がけました。例会の欠席届もほとんどの会員が順守してくださっていますが、もう少し徹底することが今後の課題だと思います。

【奉仕プロジェクト委員会 長谷川博章委員長】

①職業奉仕委員会

9 月 10 日～11 日にかけて東京 RC のメーキャップ例会を開催し多数の出席を頂き、職業倫理や職業奉仕の在り方を見つめ直す有意義な時間を過ごすことができました。次年度以降でも企画して頂ければと思います。

②社会奉仕委員会

例年、参加している「クリーンアップならキャンペーン」に 12 名参加しました。藤原宮跡は綺麗に整備されていて清掃活動をするところが少なかったので見直しを検討してはと思います。

③国際奉仕委員会

地区補助金を活用してのフィリピンでの事業は相手方とのコミュニケーション不足や認識のズレがあり結果として活動できませんでした。また、ハワイで開催される国際ロータリー年次大会への参加もコロナウイルスの影響で中止となってしまいました。次年度も国際奉仕活動は難しいと思いますが検討をお願い致します。

④青少年奉仕委員会

3回目を迎えるジュニアサマースクールには多くの参加者があり恒例事業として定着してきたように思いますが次年度はコロナウイルスの影響で開催は厳しいので他の事業をするにも慎重な判断が必要になると思います。

⑤米山奨学委員会

本年度も目標寄付金を達成することが出来ましたので会員皆様方のご協力に感謝します。毎年、米山奨学生を受入れておりクラブとして定着してきているので今後も継続して頂きたいと思います。

⑥ローターアクト・インターアクト委員会

合同の夜間例会にインターアクトの生徒が日程の都合により出席できなかったので次年度は調整をお願い致します。ローターアクトの例会等に積極的に参加して交流を深めることができたと思います。次年度はコロナウイルス感染の影響で活動に制約がかかると思われるので慎重な対応をして頂きたいと思います。また、次年度は檀原 RAC より地区代表が輩出されますのでご支援、ご協力の程よろしくお願い致します。

<職業奉仕委員会 密門裕範委員長>

東京 RC メーカーツアー

目的：初日は日本の食の象徴ともいえる豊洲市場をガイド付き見学し、食の安全における倫理的にもインバウンドを考える上でも最先端の在り方を学習し、また翌日は職業奉仕はじめ日本のロータリークラブの原点でもある東京 RC 例会にメーカーツアーし、多くの職種の方と会員相互の交流を通じて勉強させて頂きました。二日間を通し、職業倫理、メンバーそれぞれの職業奉仕の在り方を見つめなおす良い刺激と学習を得られたことと思います。申し送り事項としましては、東京 RC 例会見学が非常に有意義で学びも多かったため、今後も他クラブ見学例会があれば当クラブメンバーにとっても意義深いかと思っております。

<社会奉仕委員会 長谷川博章委員長>

9月1日(日)に開催された県内21ヶ所で美化活動、啓蒙活動を行っている「クリーンアップならキャンペーン」に参加しました。ロータリークラブからは12名の参加を頂き、テリトリー内にある藤原宮跡のクリーンアップ活動をして他団体と共に清掃活動を行いロータリークラブも周知に努めました。

<国際奉仕委員会 藤岡宏章委員長>

2013年の台風により甚大な被害を受けたフィリピ

ン・タクロバン市ニューホープ村において水供給システムを作るべく、地区補助金を活用した事業を立ち上げ、2018年6月に2650地区国際委員会が現地視察を行い、2019年10月には工事着工前の現地打ち合わせのため、当クラブが現地確認を行いました。しかし、2019年12月26日台風29号により現地がまたも被災され、このプロジェクトの実行が不可能になってしまいました。また、新型コロナウイルスの世界的大流行により、ハワイで開催予定だった国際ロータリー年次大会(国際大会)も中止となりました。今年度に行う予定であった2つの大きな事業が、共に対外的な理由で実現できず、非常に残念に思います。新型コロナウイルスの影響もしばらく続くことになるので、国際奉仕活動は難しいかもしれませんが、次年度は当クラブから地区国際奉仕委員会に2名出向して頂きますので、地区の国際奉仕活動への参加や国際大会への参加など、積極的な活動をご検討頂ければと思います。

<青少年奉仕委員会 河村善一委員長>

前年まで10年間続けてきた「檀原 RC 杯学童野球大会」と「こども達と和の集い」を本年度は継続せず、「ジュニアサマースクール」に集中して事業を行いました。「ジュニアサマースクール」は100名を超える小学生の参加があり、ロータリアンやローターアクターも多数参加頂き、にぎやかにそして無事に終えることができました。また2月には担当移動例会として、児童養護施設の見学を実施しました。次年度は新型コロナウイルスの影響で、「ジュニアサマースクール」を中止せざるを得ない状況にあるものの、青少年奉仕に係る事業を年度途中でも企画していきたい。

[米山奨学委員会 平田博也委員長]

委員会の主な役割として会員から善意の寄付をお願いすることです。前期・後期会費納入時に寄付金をお願いしていますが、10月の米山月間のときに、改めて寄付のお願いを致しました。当地区の目標寄付額は一人当たり24,000円となっており、当クラブはここ数年、地区目標を達成しており、今年度も26,205円と達成することができました。会員の皆様ありがとうございます。寄付は随時受付をしておりますので、委員会または事務局に申し出てください。5年間地区へ出向し、米山について勉強させて頂きました。次年度は河村会員が地区へ出向してくれまますので、次年度もよろしくお願い致します。4月より新しい奨学生グォン・ティータイン・ヒュオンさん(ベトナム)も受け入れております。コロナの影響で6月から例会に出席しております。カウンセラーと共に歓迎と2022年3月までお世話にご協力ください。

[RA・IA委員会 中谷昌紀委員長]

<ローターアクト>

本年度は、9名という久々の一桁人数からのスタートでした。少数ではありましたが、千袋会長の下、非常にまとまりがよく、理事会、例会ともに高出席率で、

各人が専門的なテーマに能動的に取り組んでくれました。また、地区活動にも積極的に参加し、特にアクトの日の「奈良公園の鹿を守る清掃活動」でもリーダー的な役割を果たしてくれました。一方、新型コロナウイルスの影響で2月以降の活動は自粛となり、地区大会が中止となるなど残念な思いもしました。自粛期間中にLINEによる「リモート理事会」を行ったのも印象的で、私自身も勉強になりました。次年度は当クラブから小川君が地区代表に選ばれましたので、今後の活躍を期待しています。

<インターアクト>

本年度は新入生の入部が多く、ローターアクトとは対照的に二桁(11名)のクラブ員となりました。新しい顧問の先生とともに、子ども食堂への訪問や募金活動など、校外でのボランティア活動に積極的に取り組みました。また、アクトの日も参加し、清掃活動にも汗を流してくれました。地区から才門インターアクト委員長の訪問の下、例会を開催できたこと、インターアクトクラブでボランティア活動が出来ると思い、樫原学院に入学した生徒が2名いたことが印象的です。良いスタートを切れましたが、新型コロナウイルスの影響で2月以降の活動を自粛せざるを得なくなったのが非常に残念です。

【クラブ管理運営委員会 米田常彦委員長】

【プログラム委員会】

例会プログラム策定と出席とニコニコの業務という今までにない多忙さ、尾上隆志委員長でしか出来ない取り組み、有難うございました。さすがです！また京都での地区大会を例会で開催し、趣向を凝らして多くのメンバーに参加頂き、高橋年度の盛り上がりが増田ガバナー補佐への感謝を考えて頂いていましたが、「コロナウイルス」の影響で中止になり、残念でしたね。

尾上隆志委員長、一年間、有難うございました。

【親睦活動委員会】

より楽しい企画、運営と高橋会長所信にあるロータリーだから体験できる、納涼例会(屋形船)、一泊例会(鹿児島、霧島方面)良かったですよ。参加されたメンバーの皆様は、喜んで頂けたと思います。また7年に一度、周ってくる南輪会ゴルフ大会も「コロナウイルス」の影響で直前に中止になりましたが、各クラブの申し込みを待つ段階まで、企画、準備出来ていましたね。次年度、安永吉伸委員長に引き継ぎ早めにお願致します。

関 俊昭委員長、一年間、有難うございました。

<親睦活動委員会 関 俊昭委員長>

本年度の親睦活動委員会では、安永副委員長をはじめ委員会メンバーのご協力により、無事に年当初に掲げた委員会活動を滞りなく開催することができたと思っております。随分前に感じられますが、屋形船でクルージングしながらの納涼例会、予想以上に盛り上がったシェラトンでの望年親睦家族会、そしてコロナ禍により開催を非常に憂慮した中での鹿児島での一泊例

会、すべての事業においてロータリアン皆様の友情とご協力があったの事業であったと思っております。残念ながら、南輪会のゴルフコンペの主催はコロナ禍により実現できませんでしたが、次年度安永委員長が今年のみまで頑張ってくれると思っております。

一年間、ありがとうございました。

<プログラム委員会 尾上隆志委員長>

本年度、プログラム委員会として例会プログラムの策定と共に、出席・ニコニコの業務を担当させて頂きました。例会の受付に関しましては、委員会メンバーの皆様には誰よりも早く会場にお越し頂き、その業務を担って頂きましたことに感謝申し上げます。また、年当初にその役割分担を委員会メンバーで割り振りを行っておりましたが、急な欠席等による対応も委員会の皆様が積極的に互いを補って下さいましたことで、本当に助けて頂きました。

例会プログラムの実施に際しては、本年度に限っては「コロナウイルス」の影響もあり、やむを得ず中止となった内容が多くありました。例会に向け、ご予定・準備をして頂いておりました皆様には、大変なご迷惑とお手間を取らせましたことお詫び申し上げます。地区大会にあたっては、増田ガバナー補佐をはじめ地区出向の皆様のご慰労を兼ねて、多くのメンバーで何うプランを作っておりましたが、大会の中止に伴いこの予定も実施されることがありませんでした。

私自身初めての委員長を仰せつかり、不慣れで分からない部分も多分にございました。パスト会長でもある井上さんに色々とお助け頂き、また委員会メンバーの皆様にご支え頂き、無事一年間、任を全うすることができました。

次年度への申し送りと致しましては、本年度樫原市長による市政報告を予定しておりましたが、例会の中止により実施することができませんでした。次年度におかれましては、樫原市長が新しく就任されたこともあり、是非にその実現を行って頂きたいと思っております。

<会員増強委員会 森川善隆委員長>

(代理発表：吉川弘晃副委員長)

高橋会長所信にも「会員増強は喫緊の課題」と最重要項目に掲げられ、委員会メンバーは、本年度は何とか会員増強を図ろうと尽力しました。会員にも情報集会等開催し、会員増強に努力頂きましたが、実績には至っていませんでした。今後も会員の皆様と危機感を共有し、会員増強に努めて参ります。

<ロータリー財団委員会 増田善昭委員長>

ロータリークラブの国際貢献プログラムに対する会員の理解度の向上と同時に協力を仰ぎました。ロータリー財団のプログラムは3種類ありますが、それは教育的プログラム、人道的補助金プログラム、ポリオ・プラス・プログラムです。それらを実行するにあたりロータリー財団への寄付が当クラブにも要請されています。年次寄付として、会員1名当たり180\$以上の

協力を要請されていますが、これは達成致しました。さらに、ベネファクター1,000\$は1名ありました。具体的な寄付協力結果は次の通りです。

ベネファクター 1,000\$ 1名
マルチプル・ポールハリスフェロー
2,000\$ (2回目) 1名
マルチプル・ポールハリスフェロー
4,000\$ (4回目) 1名
ポールハリスフェロー 1,000\$ 2名

以上の通りほぼ年間協力予定は達成できました。また、当クラブは財団からの補助を受けフィリピンでの水資源開発でのマッチングプロジェクトが計画され、当委員会も協力致しましたが、諸般の事情により中止となったことは今後への課題と考えています。

<公共イメージ委員会 松井大典委員長>

本年度、基本方針で掲げたクラブの存在と活動を積極的に発信するという目標においては、高橋会長からの助言もあり、クラブの Facebook ページの開設を行うなど一歩前進できたと感じている。しかしながらページ管理などの運用面が疎かになってしまい、発信する情報内容や発信回数は少なかった。閲覧者には会員以外にジュニアサマースクールに参加した児童の保護者もおられ、地域社会へ発信するツールとしては有効なものであることを実感した。運用方法を次年度に引き継ぎ、内容を充実させて頂ければ有り難い。

My Rotary への登録推奨を行った。通信環境により登録できない会員もいたが登録者数は増加できた。反省点として年度始めに一度勧奨しただけであったので、その後の未加入者に対して声掛けを怠ったことが挙げられる。

【育英資金委員会 福井良盟委員長】

良いことか悪いことか分かりませんが、育英資金を使うことはありませんでした。

【長期計画委員会 高橋 靖委員長】

次年度以降への提言

(1) 出欠席の明確化

当クラブでは報告のない例会欠席により、過去3ヶ年平均で年間400,000円の食費と食事の無駄、つまりフードロスをしており、経費面でも心情的にも本当にもったいないことをしている。例会費 = 食費なので出欠席を明確にすれば、クラブとして実質的に支出は削減され、赤字補填は可能である。また、世界的に議論されるフードロス対策は、地域社会や次世代の模範となるべきロータリアンの取り組むべき課題だろう。会員の精神的体力的なストレスが少ない取組方法として、例会出席時に受付で次回の出欠席を確認、未確認の会員には事務局から出欠席の確認を行うことを推奨したい。出席免除会員の皆様には多少のお手間をかけていただくことになるが、クラブ存続にむけた向けた取り組みであることをどうかご理解頂きたい。

(2) ニコニコ箱

本年度の決算を鑑みると、ニコニコ箱財源から本会計へ補填しなくてもクラブ運営は可能と思われる。もちろん、背丈に合わせたクラブ運営をした結果ではある。本会計からの支出は全会員が満遍なく負担するのが本来の姿である。それを踏まえると、ニコニコ箱は定常的ではなく公平でもないの、本会計を補助する財源としては不適切と言わざるを得ない。なぜなら、ニコニコ箱の集金方法や確保できる金額に不安定な要素が多く、会員それぞれで金額の多寡があるからだ。起源は諸説様々あるニコニコ箱だが、幸せのおすそ分けであったり、何かを行うために金銭を出し合うこと、それがあべき姿だと思う。「金を集める」ではなく「金が集まる」、つまり、「徴収」ではなく「拠金」である。収入が減ってきたからニコニコ箱から補填しよう、ニコニコ箱の集まりが悪いから目標金額を決めよう、というのは目的を忘れ手法に走る行為ではないだろうか。また、ニコニコ箱しないといけない、してないから気が咎める等の、暗黙の義務感が生まれる集金方法は望ましくない。これまでは会員の好意と寛容に甘えてきたが、経済状況の変化や価値観の多様化により、現状の集金方法や用途を見直す議論が将来的に起こっても不思議ではないし、確保できる金額が目減りする可能性も否めない。ニコニコ箱の集金方法は、目的や金額を明確にして賛同いただける会員からの拠金、そして会員からの純粋な幸せのおすそ分けであってほしい。そしてその財源は、不測の事態が発生した際の寄付や、各種委員会事業費の不足する金額のみを補填する用途として提案したい。もちろん、ニコニコ箱財源を使用した際は透明性を持たせるため、寄付や事業終了時に用途及び金額を決算書へ明示するべきである。

(3) クラブ活動運営資金

本資金徴収開始時の原点を踏まえ、使用用途を明確化するとともに透明化を図ることで、年会費増減の実質的な議論ができる。年会費の増減は細則の変更が必要となるが、クラブ活動運営資金は当該年度の理事会の決定により増減が可能である。年度毎の予算作成時に減額も検討し、会員負担の軽減を図るべきだろう。

(4) 繰越金

事務局員の労働契約改訂を2020年1月完了したので、次年度以降の件費は前年比約100万円程度が削減される。さらなる週報や案内文書の電子化促進、会場場所や企画の工夫等の経費削減、そして本提言の実施により繰越金は発生する。

(5) 育英基金

逼迫した財政状況下では、大規模な例会や事業の企画及び開催が難しいのは言うまでもない。当該年度の役員、理事、委員長が予算の都合で致し方なく諦めた例会や事業もあるだろう。クラブには育英基金という大きな財源がある。原則として優良な青少年育成のための事業に使われる基金である。しかし、クラブとして意義ある事業だと認められるならば、積極的かつ継続的に活用されてもよいのではないだろうか。そうすれば、今以上に地域社会や次世代に貢献できるとともに、クラブの公共イメージと価値を高めることができ

る。また、年頭より育英基金を収入に見込めば事業予算編成が容易になるとともに、会費削減につながることもできる。育英基金は諸先輩、そして現会員が拠出した貴重な浄財だ。これは「監視」ではなく「管理」される財源であるから、手続きを踏まえ有効に活用することを推奨したい。もちろん、育英資金委員会及び理事会は事業内容と予算をしっかりと見極めなければならない。

(6) 会長幹事会費用

会長幹事会はクラブサービスとして出席するため、費用は本会計から全額もしくは一部負担を推奨したい。

「会長・幹事退任挨拶」

<会長 高橋 靖会員>

[不要不急]

先のコロナショックにより、私たちは不要不急の活動の自粛を余儀なくされました。自分を、家族を、友人を、社員を、ひいては社会を守るために、最低限の活動で過ごした数ヶ月でした。例に漏れずロータリーも表立った活動はできず、空白の期間が生まれます。不要不急を、悪い意味では無駄、良い意味では余裕と言い換えることができるかもしれません。いずれにせよ、ロータリー活動は不要不急でありました。

自粛生活では無駄が削ぎ落とされ新たな発見もありましたが、味気ない生活だけでは少しばかり窮屈だなと感じました。やはり、人が生き生きと暮らしてゆけるのは、不要不急かもしれないけれど、少しばかりの無駄と余裕から生まれる娯楽や文化があるからでしょう。しかも音楽ならドレミだけでなくマイナーメジャーで情感を、絵画ならデッサンだけでなく水彩油彩で鮮烈に、車ならトラックやセダンだけでなくクーペやオープンで官能を、それらは人生に潤いや面白味、感動を与えてくれます。

ロータリーも同様ではないでしょうか。ロータリー活動が平和への一助であるのは疑いようのない事実です。ロータリークラブに入っていることで、世界、地域、次世代にサービスをしています。会費の中に、ポリオ寄付金が含まれているから小さな命が救える、震災への協力金が含まれているから復興を支援できる、奨学生を受け入れているから次世代は活躍できる。そして、その会費は私たちが働いた金から出されているから、私たちの職業を通してロータリーのサービスをして、さらに企業を存続させることで地域社会にも貢献している。何もしていないように見えても、私たちは人、地域、世界に向けて良いことをして、夢、希望、感動を与え続けています。確かに急を要しませんが、ロータリーの存在自体に意味があります。だからこそ、ロータリークラブは存続してゆかねばなりません。

事業をしなければならない義務感で、無理矢理に事業をすることはありません。それよりもまずは、ロータリーをきちんと理解してくれる会員を増やし、会員

間の理解を深める懇親に時間と金を費やしたい。ただ、それだけでは単に仲良くなるだけだから、会員同士が良いことしていると互いに実感して一体感を得る事業はすばらしい。頭を使って、少しばかりは体も使って。そこには、寄付するだけ、協賛するだけでは得られない感動と絆が生まれるでしょう。

東京 RC 訪問や国際事業をしようとした理由の一つは、このためです。継続事業を財政が厳しいのに大事な浄財を切り崩してまでも続ける中で、これしかできない、やめられない、やりたいことができない、そんな雰囲気は漂っていました。でも、そんな空気は吹き飛ばそう、限界なんて決めるもんじゃない、先が見えている未来はいらない、やる気になればできる、若いも若きも長きも短きも全ての会員に榎原ロータリークラブは新しい良いことができる、そんな気持ちの一体感を持ってもらいたかった。国際事業に力添えいただいた多くの方には申し訳ない思いしかありません。あと一步の所まできましたが、私の力不足で事業自体は頓挫しました。事業で結果は出したかったけれど、やろうと決めて行動に移せば新しいことができるとわかってもらえたと信じています。

クラブの運営、続けてきた慣習、金の使い方では、今まで手を付けていなかったことまで踏み込みました。幹事をした際の取り組みが道半ばであったからです。会員には多少の不便や新しい取り組みをお願いし、関係団体の期待に添えない対応もしました。しかしながら、曖昧模糊な状態を限りなく透明化し、可能性を見出し、具体的な道筋の一つを提言できました。それは先ほど示した通りです。

榎原ロータリークラブはダイバーシティなクラブです。ダイバーシティ、つまり、多様性を認め合うとは、様々な考えや価値観を尊重して受け入れ、ときには叱咤激励し、そのうえでそれぞれの能力を最大限発揮できる舞台を作ることです。そして、多様性を認めて変わるから、時代の変化に耐え生き残ります。変わることを甘んじて受け入れていただいた榎原ロータリークラブの奥深さを改めて痛感し、会員の皆様の懐の広さに心より感謝申し上げます。

時代の狭間をつなぐこと、そして未来への露払いが、与えられた担いでした。それが三年前。ヨソモノ、ワカモノ、バカモノであろうと心に留めました。無知な他所者だから学ぼう、無謀な若者だから策を講じよう、極端な馬鹿者だから調和を図ろうと。そしてこの一年。嫌われても、責められても、疎まれても、ほんの少しの勇気と覚悟を持とう。強い者、数が多い者、賢い者が生き残るのではない、変化できる者が唯一生き残る。そう信じて務めてきました。そしていま、預かったバトンを渡す時が来ています。形は少し変わったけど、バトンに込めた勇気は変えないでほしい。ありがとうございました。

<幹事 豊田博樹会員>

今年度は屋形船での納涼例会や東京 RC へのメーキャップツアー、シェラトン都ホテルでの望年親睦家族

会、鹿児島への一泊例会と、さまざまな事業を行わせて頂き、ありがとうございました。年明け早々には台風の影響もあり、フィリピンでの国際奉仕事業は中止となってしまいました。また、新型コロナウイルスの影響で4月の地区大会、6月の国際大会も中止となってしまいました。例会も3月第2例会から4月・5月の例会も中止となり、皆様とお会いすることができませんでした。本日、こうして会員皆様とお会いすることができ、うれしく思っています。本当に一年間ありがとうございました。

花 束 贈 呈

高橋会長・豊田幹事に感謝を込めて、長谷川会長エレクト・松井副幹事より花束が贈呈された。



乾 杯 の 発 声

【福井良盟会員】

急なご指名で驚いているが、乾杯の発声をさせて頂く。今年度高橋会長はじめ皆様のご健闘に感謝し、また次年度のクラブの発展を祈念して乾杯させて頂く。乾杯！

【6月末で退会される松岡康毅会員へ、花束の贈呈】



【松岡康毅会員より、ご挨拶】

長い間、お世話になりました。今日で最後の例会出席となるが、耳が不自由になり、皆様と楽しく過ごせないことがストレスとなってしまったので、しばらくお休みさせて頂く。私の体にはペースメーカーも入っており、人工内耳もつけている。そのうちサイボーグになってクラブに戻ってくるかもしれないが、その時はよろしくお願ひしたい。

一緒に楽しいことをすることでクラブは発展していくと思っている。私もっと楽しみたかったが、ここでお休みさせて頂くことを非常に申し訳なく思う。長い間ありがとうございました。

【例会ご案内】

7月10日(金)《第2例会》
フォーラム

7月17日(金)《第3例会》
(一社) 檀原市観光協会 常務理事 牧野文成氏
担当：プログラム委員会

7月24日(金・祝)・7月31日(金)
休会

8月7日(金)《第1例会》
新入会員自己紹介

【同好会】

書道同好会

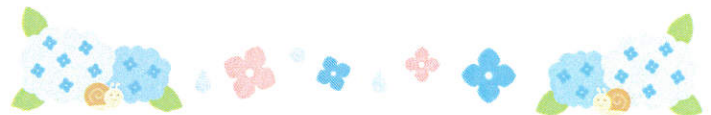
7月3日(金)・7月17日(金)
午後2時～ 於：4階 楓の間

【RAC 例会】

【檀原オークホテルにて、午後7時30分～9時】
7月8日(水)《第1例会》
所信表明

7月22日(水)《第2例会》
社会奉仕①

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。



皆勤賞

